



■～超音波検査について第2回～

超音波検査について 第2回

●超音波室では超音波検査に対する、
さまざまな質問にお答えしていきます。



初めて超音波室に来られる妊婦さんから、外来で行う超音波検査とどう違うのですか、超音波室はどんなところですかと、質問をされることがあります。

超音波をおなかにあてて(母体や胎児に害はありません)赤ちゃんが元気かどうか、お母さんの子宮や胎盤に異常がないかを調べるという目的は、外来で行う超音波検査と同じです。

しかし、妊娠16週以降になると、胎児の体全体がモニターの画面に入らなくなる位に大きくなり、おなかの上から超音波をあてて検査をすることが可能となるので、この頃から超音波室で検査を行うようになります。逆に妊娠16週以前では、外来診察室にて検査を行い、超音波室での検査を行うことはありません。

また、外来診察室では落ち着いてゆっくりおなかの赤ちゃんを見ることが出来ない場合が多いので、超音波室では多少時間をかけることにより、御夫婦一諸にモニター画面に映る赤ちゃんの姿をゆっくり見ることができます。ですので、お母さんの不安な気持ちも解消されるものと思われます。

一言でいえば、超音波室とは赤ちゃんを見るところとってください。

そして大いに楽しんで検査を受けて下さい。

担当:放射線科